

留学先大学：School of Oriental and African Studies (SOAS), University of London

留学先での所属学部・研究科：_____

留学先での在籍身分：Japanese Exchange

留学期間：2010年8月～2011年6月

神戸大学での所属学部・研究科：法学部

学年（出発時）：3年次

本報告書記入日：2010年11月19日

出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

- 地球の歩き方
- SOASへ留学していた人のブログ

住居について

- 住居のタイプ：大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に）_____
- 住居（寮，アパート）の名前：Dinwiddy House
- 部屋の種類：一人部屋 二人部屋 その他（具体的に）_____
- ルームメイト：現地学生 留学生（出身国：UK, Ireland, Germany） その他（具体的に）_____
- どのように探しましたか。：大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に）_____
- 大学までの通学時間・手段：_____ 徒歩30分
- 住居の周りの環境はどうですか。：

交通の便が良い。車やサイレンの音がうるさい。治安は比較的良い。

- 毎日の食事はどうしていますか。：

ほぼ自炊

- 住居は渡航前に、または渡航後すぐに見つかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

渡航前に決まった。トラブルはとくになし。

大学の授業について**1. 履修登録について**

- 履修登録の時期：出発前 到着後
- 履修登録の方法：On-line International Office等の仲介 その他（具体的に）_____ 教授に会いに行って、登録用紙に履修許可の
- 登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。：無し 有り
- 優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

履修登録方法は、教授に会いに行って、登録用紙に履修許可のサインをもらって、Department Officeに提出した。

- 希望通りの授業が履修できましたか。：はい いいえ
- 希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習, 復習, テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	Development Conditions and Experience	Dr. Anna Lindley	3	1		開発の理論を学ぶ、入門のコース。 毎回講義をする先生が変わるので、アクセントがばらばらで なかなか耳が慣れない。
2	Introduction to Global Forced Migration Studies	Dr. David Rampton	3	1		移民・難民問題を学ぶ応用コース。 リーディングの量がとても多い。
3	The Anthropology of Gender	Dr. Caroline Osella	3	0.5		
4	Special Course in Chinese	Dr. Song Lianyi	4	1		
5	In-sessional English Course	Robin Kearney	2			
6						
7						
8						
9						
10						

3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

一週間のスケジュール（授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。）

	月	火	水	木	金	土	日
8:00							
9:00						・ロンドン散策etc	・ロンドン散策etc
10:00							
11:00	講義		講義		チュートリアル	図書館で勉強	図書館で勉強
12:00	↓		↓				
13:00	↓		↓		チュートリアル		
14:00	図書館で勉強	日本語学科の授業	図書館で勉強	チュートリアル 図書館で勉強	チュートリアル 講義		
15:00	↓	講義	↓	↓	↓		
16:00	↓	図書館で勉強	↓	↓	↓		
17:00	↓		↓	↓	友達と晩ご飯		
18:00	↓		↓	↓			
19:00	↓		↓	↓			
20:00	↓		↓	↓			
21:00	↓		↓	↓			
22:00	↓		↓	↓			

現在までの感想 自由に記入してください。（800字～）

- ・ロンドンというまちは、本当に色々な国の人が暮らしていて、様々な文化が混在している大都会。刺激にあふれていて、良くも悪くも住み慣れない。社会や学校のシステム、考え方や価値観は本当に様々。
- ・SOASは学生のバックグラウンドが本当に多彩で、色々な人に出会えるのでとても面白い。学生は、しっかりとした興味や目的意識を持っていて、とても勉強熱心。でも、遊ぶときは遊ぶ。切り替えがはっきりしていると感じる。また、日本語や日本の文化について学んでいる学生との交流も面白い。
- ・まだまだ英語の壁が厚く、授業やチュートリアルについていくのは本当に必死。リーディングの量も多い上に読むのに他の学生の2、3倍かかるので、なかなか追いつけない。日々精進しながら、この機会を最大限に生かして、色々な人に出て、色々なものを見て、吸収できるだけ吸収して帰りたい。